

令和5（2023）年度 生涯学習・社会教育関係職員研修Ⅰ 実施報告①

実施日：令和5年4月26日（水）

本研修は新たに生涯学習・社会教育関係職員として配属された方々が、業務を遂行する上で必要となる社会教育行政に関する基礎的知識や学習プログラムの企画・立案の技術等を学びます。第1回の研修には、41名の生涯学習、社会教育関係に携わる様々な立場の方が受講されました。

○ 説明「初めて生涯学習・社会教育行政を担う人に必要な基礎知識」 総合教育センター職員

はじめに、生涯学習の理念や、社会教育の定義について根拠となる法律や答申等を交えて説明を行いました。また、地域住民が主体的に学びたいと思っている趣味や教養といった学習ニーズと、少子高齢化、防犯・防災などの避けては通れない問題についての学びの機会を行政がバランスよく用意することが個人の要望や社会の要請に応えることにつながることも触れました。さらに、生涯学習を振興していく上で「教育の視点」をもって事業を計画することが重要であること、教育行政としての施策の立案の中心は「人づくり」「地域づくり」であることを確認しました。



○ 事例発表「生涯学習・社会教育を担っている先達から学ぶ」

高根沢町教育委員会事務局生涯学習課生涯学習係 主事 長谷 柚香 氏

長谷氏は現在、高根沢町教育委員会事務局生涯学習課に勤務され、今年で5年目になるそうです。勤務先で行っている事業、及び、御自身が担当した業務の中で工夫した点、住民の皆様の安全を配慮した点などについて御発表いただきました。

御担当されている「二十歳の集い」について、民法改正による式典名称の変更や新成人実行委員による式典の運営・企画、地域の方のボランティアによる当日の受付等の発表がありました。また、コロナ禍での式典の開催に当たっては、令和3年の成人式中止への対応を生涯学習課職員が協力して行ったこと、成人者からの要望に応えた代替イベント「成人の集い」をオンライン開催したことなど住民の方の安全を考えつつ、ニーズを捉えイベントを開催したお話は、受講者にとって今後の業務に参考となるものでした。



○ 情報交換「業務に対する情報の共有とネットワークづくり」 総合教育センター職員

受講者はグループごとに自己紹介を行い、事例発表に対する感想を伝え合いました。その後、所属の市町の社会教育行政のちょっとよいところ紹介、業務を進める上での悩みについて話し合ったことにより、受講者同士が業務への期待と不安を共有することができ、誰もが同じような不安を感じていることに気付きました。

後半はグループ以外の受講者と名刺交換をしながら、それまでの話合いについて情報を共有することをおしてネットワークづくりをすることができました。



☆受講者の声（アンケートから）

- ・いろいろな方々と話し合ったことで新しい視点を発見したり、同じような課題や悩みを共有できたりと有意義な研修会だった。
- ・「二十歳の集い」は、今年度自分が担当する業務であるので、事例発表からよい学びを得られた。
- ・受講者が生き生きとしていた。自分も楽しくなるような仕事、企画を作っていきたい。

研修内容の詳細に関するお問い合わせは栃木県総合教育センター生涯学習部まで
TEL:028-665-7206 e-mail:skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp

